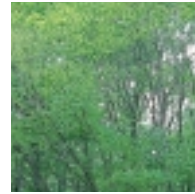


# こうふ町 議会だより

町 勢

世帯数／1,144世帯  
人 口／3,586人  
(平成21年5月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



## 江府小学校入学式

安全・安心して暮らせる町づくりに努力（平成21年度予算）	2 P
予算の審議	6 P
<b>いっぱん質問</b> 町政を問う	12 P
私もひと言	18 P

# 安全・安心して暮らせる町づくりに努力

## 一般会計

# 29億5800万円

### (前年比2700万円増額)

平成21年度3月定例会は、3月6日から19日までの14日間の日程で開催された。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例の制定・改正等、58議案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決された。

一般質問は、5名の議員が質問し、福祉・教育・情報通信等活発な論議が交わされた。

平成21年度予算は、町税の減少を見込む一方、公債費の償還のピークを迎える為、行財政運営の効率化、適正化を図りながら住民福祉サービスの向上を目指しています。

又、議会に於いても対策の一環として、議員報酬を更に削減し、小さくても元気で明るい輝きのある町づくりに向けて予算編成された。

平成21年度 一般会計総額	29億5800万円
(前年対比100・92パーセント)	
特別会計	17億6589万円
町民一人当たり	130万4千円
一世帯当り	414万4千円の予算です

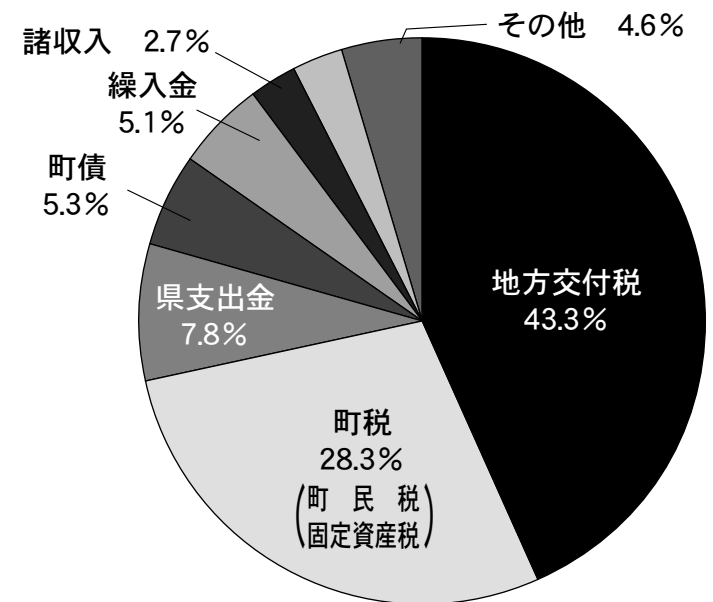
### 主な歳入は

○ 地方交付金	12億8000万円
○ 町税	8億3792万円
○ 地方消費税交付金	2億988万円
○ 県支出金緊急地域雇用特別交付金	1億736万円

### 主な歳出は

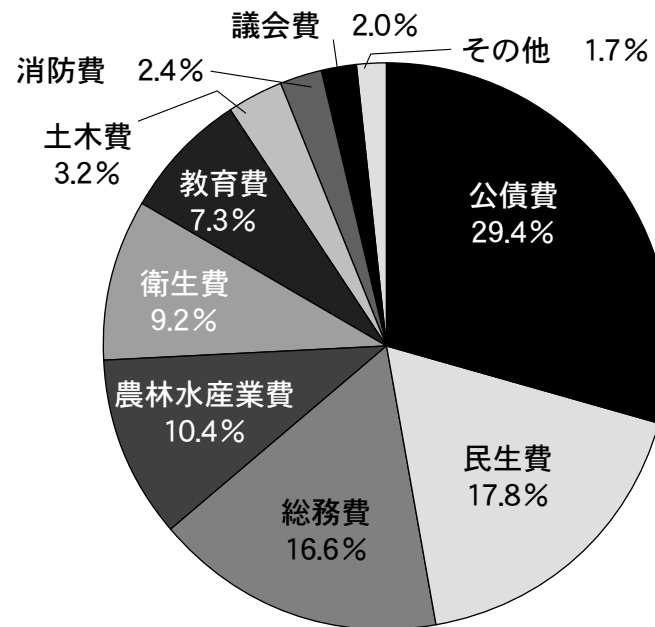
○ 小学校統合にともない、児童の放課後及び下校時の安全確保を図るため、「放課後子ども教室」を開設	770万円
○ 江尾小学校体育館改築工事費	1億7500万円
○ 遠距離通学助成	1529万円
○ 購入以来22年を経過する消防自動車の更新により消防機動力の充実を図り、町民の生命、財産の保全に貢献すること	1978万円
○ 緊急雇用対策費	1736万円
○ 町営バス委託料	4951万円
○ 新規バス購入費	1580万円

## 歳入



地方交付税	12億8000万円
町税	(町民税 9529万円) (固定資産税 7億2241万円)
県支出金	2億3115万円
町債	1億5790万円

## 歳出



公債費	8億7008万円
民生費	5億2605万円
総務費	4億9215万円
農林水産業費	3億664万円
衛生費	2億7267万円

## 特別会計（16会計）

# 総額 17億6589万円

## （前年比 6000万円増額）

### 国民健康保険（事業勘定）

全国統一の医療費数値を示す指数は厚生労働者の数値をかりうじてクリアしたものの、県の準指定値を上回っている。

これは、入院費の数値が、前年度より倍になったことによるもので、上昇の傾向、疾病分析をして、原因究明に努め、医療費の適正化をはかる。

糖尿病外来、高血圧、心臓病外来に続いて、認知症に対応した専門医による「物忘れ外来」を設置する。

### 第四期介護保険料計画を樹立

施設入所が増加傾向になっている状況を踏まえ、介護保険料を300円増額、基準月額4650円となる。

### ○索道事業

エバーランド奥大山の索道事業については、指定管理者が決らず、町が今シーズンは、3月15日まで運営新しく導入した圧雪車も新戦力となり黒字経営が見込まれる。

### ○農業集落排水事業

宮市地区は21年度で事業完了。美用地区は21年度工事着手。23年度完了目途に事業を進める。



奥大山ジュニアスキー教室

# 特別会計

(単位 千円)

会計区分	21年度予算	一般会計からの繰入金
住宅新築資金貸付事業	2,501	802
国民健康保険（事業勘定）	409,140	20,000
国民健康保険（施設勘定）	294,030	41,834
老人保険	16,015	1,200
介護保険事業（保険事業勘定）	434,935	63,845
介護保険事業（サービス事業）	2,359	0
介護老人保健施設	37,628	0
後期高齢者医療	44,114	16,245
索道事業	62,010	0
簡易水道事業	132,431	39,305
農業集落排水事業	247,625	80,030
林業集落排水事業	5,535	4,592
特定環境保全公共下水道事業	67,650	29,132
江尾財産区	3,928	0
神奈川財産区	1,501	0
米沢財産区	4,493	0

## 下水道水洗化率及び下水道関係接続率

H20. 4. 1 現在

整備率		使用開始率（接続）		水洗化率	
世帯数	人口率	接続世帯	人口率	水洗化率世帯	人口率
90.1%	90.0%	76.1%	79.7%	74.1%	78.0%

世帯数 1,153世帯

人口 3,665人（H20.5.1 現在）

○宮市地区（宮市、宮市原）は21年度で事業完了

○美用地区は今年度事業着手23年度完了を目標



# 予算の

**Q** 住民の健康対策は、住民の健康対策は、健康福祉センター・診療所を核として町民の健康に努めます。

## 住民の健康福祉

**Q** 妊婦無料健診回数を増やして7回→14回。  
**Q** 思春期性教育を小学生まで拡大。  
**Q** 診療心理士指導回数の増2回→8回。  
**Q** 小児インフルエンザ助成(対象6ヶ月〜中3)。

**Q** 安心して子育て出来る環境整備は、母子健康相談事業の充実を図っています。

**Q** 遠距離通学バスの通学助成。

## 少子化対策 子育て支援は

**Q** 30人学級を実施します。(1・3年全額協力)  
**Q** 中学校の教育支援は、

## 中学校教育は

**Q** 高年齢者買い物困難地域緊急支援事業。

**Q** 物忘れ外来の設置は、他町にさがけて先進的に取り組んでいきます。

## 公共交通整備

**Q** 町営バスになって利便性は、

**Q** 町民の移動手段として、充実をはかっています。不都合な点は改善していきます。

**Q** 高齢者買い物困難地域緊急支援事業。  
**Q** 物忘れ外来の設置は、他町にさがけて先進的に取り組んでいきます。



はじめてのバス通学

## 緊急雇用対策

**Q** 国・県が緊急雇用対策を行っているが、当町の取り組みは、

**Q** 緊急雇用対策で8名を予定しています。

## 誘致企業の減免措置

**Q** 誘致企業の固定資産税減免措置は、

**Q** 3年間は減免がありますが、交付税で75%繰り入れ対応されます。



気をつけよう登下校

## 江府町の財政推計は

**Q** 厳しい財政推計ですが町民に負担がかかりませんか。  
**A** 向こう10年間の財政推計を見ても3年間は楽観は出来ないが、町民の皆さんに負担が重くのかかつて来ることはありません。平成24年以降は財政状況も好転し安定します。

## 女性消防団員は

**Q** 女性消防団員の配置はどうか。  
**A** 女性消防隊は9名ですが、団員については自衛消防を含め、検討していく。

## 納税組合の報奨金

**Q** 納税の徴収に於いて各集落への報奨金。  
**A** 今まで通り支払います。集落活動費として活用してください。

# 一般会計

## 今年度の財政状況は

**Q** 今年度の行財政改革・経済不況の影響は、

**Q** 本町においても税収の減収、公債費の増大で今年度がピークとなり、後2年は厳しい状況ですが、行財政改革を引き続き進め健全化に努めます。

## 21年度の予算

**Q** 今年度の予算はどうか。  
**A** 21年度の歳入歳出総額29億5800万円(前年対比0.9%増)で特別会計総額17億6600万円、総合計47億2400万円(前年対比1.9%増)の予算となりました。

## 歳入の固定資産税は

**Q** 固定資産税7億2241万円の内、

**Q** 中国電力の固定資産税は、固定資産税は、昨年対比97.24%と落ち込み、中国電力の固定資産税は5億8385万円です。(対前年比95.7%) 「たばこ税」は15.5%アップで、1022万円となっています。

## 特別職一般職人件費

**Q** 町長はじめ人件費は、

**Q** 町長20%、副町長・教育長12%、職員7%カットです。

## デジタル放送対応は

**Q** 平成23年7月24日でアナログ放送は切れますが、

**Q** デジタル化支援は拡大されデジタル放送は一部映っています。中継局については未定です。

## 公共施設借地料は

**Q** 路線価の改定で公共施設の借地料は、

**Q** 路線価の価格が下がっていますが、5〜10年で見直しています。現在は昨年並みです。

## 選挙の投票所

**Q** 投票所の数は変更があるのか。  
**A** 高い投票率は利便性にあった投票所の数ですが、見直しは選挙管理委員会で検討します。

## 統合小学校の児童の支援

**Q** 統合小学校の児童保護者の不安は、

**Q** 統合小学校に通学させる各児童が安心して通学・勉強できるように引き続き指導主事をおき諸問題に対応していきます。

## 町民運動会

**Q** 今年の町民運動会は、

**Q** 昨年までは各小学校で行われていましたが、今年度も旧小学校区で開催します。

## 米飯給食

**Q** 江府町米の使用による給食は、

**Q** 今年度から完全米飯給食にする事を総会で決定し進めていきます。



江府小学校

# 特別会計

## 医療費の増加は

**Q** 平成19年度は下がっていた医療費が平成20年度は上がっているがその要因は。

**A** 前年と比較し入院費が2倍になったことが主な原因である。具体的には、悪性腫瘍の入院が挙げられる。今後も病気の予防と早期発見に努め、医療費の抑制に努めたい。

## 診療所の体制は

**Q** 患者数が増加し、武地医師1名では負担が大きく、医師の増員の考えはないか。

**A** 現在、鳥取大学医学部から医師の派遣を受け対応しているが、今後を考えると医師2名

体制も考えなければならぬと思っている。現在武地医師とも協議し検討しているが、赴任する医師の将来を決めることにもなるので、十分準備をして進めていきたい。

## インフルエンザ対策は

**Q** インフルエンザが流行したがどのような対策が有効か。

**A** 当町の小児と65歳以上の約85%の方がワクチンを接種している。この数字は、全国的に見てもかなり高く又、ワクチンを接種した方で重篤になり入院する人はいない。このことから、ワクチンは予防に効果が大きく、かかっても軽くなるでいる。

## 介護保険料は

**Q** 平成21年から23年の介護保険基準月額が3000円増額の4650円となるが、その要因と他町との比較は。

**A** 高齢化が進み介護を受けられる方の増加、特に施設に入所される方の増加により保険料が上がってきています。日野町や米子市よりは低く、日南町や伯耆町、南部町よりは高いが、いずれもその差は3000円程度となっています。



江尾診療所

## 索道事業は

**Q** 今年度のスキー場の状況は。又、地域振興より派遣されているリフト技術者2名の労働状況は。

**A** 今年度は、雪に恵まれ黒字となる見込みです。技術者については、シーズンオフには、グレンドや機械の整備をしているが再度調査し報告したい。

## 水道事業は

**Q** 毎年、水質検査の委託料として650万円が必要だが、町で機器を購入し検査できないか。又、委託先の見直し等は。

**A** この委託料は、町内にある15施設の水質検査を行うものです。町で行うには、かなりの機器を購入しなければならず、現在は、各市町村が出資した財団法人鳥取県保健事業団に委託して行っています。

## 下水道の整備は

**Q** 宮市地区の下水道整備が行われているが、残された地区の整備計画は。

**A** 宮市地区は平成21年度で完了予定です。引き続き杉谷地区と残された地区の合併処理槽の工事を計画的に進める予定です。

県内には水質検査を行うところはここしかなく、契約に当たっては委託料の減額を交渉しています。西部町村では、江府町のみが入札を行い委託に出しています。今後、財政が厳しい中で委託に際しては十分精査し執行していきたい。



# 一般会計

## 予算特別委員会 参考意見

日本経済は、世界経済不況のあおりを受け、百年に一度というマイナス経済に陥り、国も財政健全化を一番に掲げ経済対策、雇用対策等重点課題への対応に苦慮している状況です。

そのような中、本町においても税収の減収、公債費の増大、扶助費等義務的経費の増大で、厳しい財政状況にあります。

本年度ピークになる公債費8億7007万円は、予算総額29億5800万円の29・4%を占めており、特別職を含む職員の給与削減を基本として、行財政改革を進めています。

町民の生活向上の基盤整備の償還が増え三位一体の改革による地方への配分が大幅に切りつめら

れた結果であると考えます。歳入においては、本年度新たな「地域雇用創出推進費」が盛り込まれており、雇用の創出を図りたい。

今年3月から公共交通手段のバスが町営となり日本交通㈱が運営していますが、町民の手軽な交通手段として、安全運行と町民の利便性を図りたい。

今年度で米沢小学校、江尾小学校、明倫小学校、俣野小学校の4校が閉校となり、江府小学校として、いよいよ4月からスタートします。

それに伴い重点施策として遠距離通学助成、放課後こども教室、指導主事の配置等江府町の「玉」をしつかりと見守り、教育し、元氣な江府町の将来を築くよう十分配慮されたい。



江府小学校体育館



窓口業務

### 総務課

(1) 21年度の特別職(すべて手当含む)は引き続き町長が20%・副町長・教育長は12%、一般職も7%カットとそれぞれ削減するなど厳しい予算ですが、職員の指揮を高める様指導されたい。

(2) 公共用地敷地借上料を今後検討されたい。

(3) 町民の財産を守るため、22年間活躍した消防車の更新が繰り越し事業として出されたが、一層の消防機動力の向上に努められたい。

### 企画政策課

平成23年7月に地上デジタル放送の町内受診状況を把握し、超高速通信時代に遅れない様努められたい。

### 町民生活課

(1) 町民の生活交通手段として、運行を始めた町営バスに対して、諸問題が発生すると考えられます。的確な判断をし、町営バスの運営の向上に努められたい。

(2) 住民基本カードの利用促進を図るとともに、引



下蚊屋バイパス

き続き窓口業務の延長を行いサービスの向上に努められたい。  
 (3) 適正な課税と徴収事務に努められたい。

**福祉保健課**

(1) 昨年から始まった特定健診・特定保健指導について町民の健康管理、特に予防医療について、スムーズな健診が出来る様に努められたい。  
 (2) 少子化の中、手厚い子育て事業を推進されたい。

(3) 社会福祉協議会の今後の在り方を検討されたい。  
 (4) 「物忘れ外来」の設置は他町村から注目されています。他の範となる様に努められたい。

**建設課**

(1) 町民の生活基盤である町道の整備、改修について、安心して通行できる様に努められたい。  
 (2) 現在進行している国道482号下蚊屋バイパス工事については、住民に

十分理解をしていただき、スムーズな事業遂行となるよう努められたい。  
 (3) 再三にわたって変更された地域高規格道路「江府道路」が、平成20年9月に発表になり地元説明

等されていますが、地域住民の意見を反映し、早期工事着工に向け努力されたい。  
 (4) 厳しい経済情勢に併せて、公共工事の入札制度も少しずつ変化してきています。時代に即した適正な入札制度を進めるよう努められたい。

**農林産業課**

(1) 企業誘致について、サントリーの増設が可能かどうか、又モニタリング委員会を十二分に活用し、環境調査を行い、関係集落に対し配慮されたい。  
 (2) 江府町の米は年々知名度が上がり「奥大山の米」として、他地区で販売されています。「奥大山の米」が更に消費者に求められる様、関係機関と積極的に検討し、農家の生産意欲がでる様努められ

たい。

(3) 集落営農が進んでいますが農業公社との取り組みを検討され、農地の活性化と、担い手を育てていくよう積極的な取り組みを図られたい。  
 (4) 現在キャベツ・白ネギ・トマト等産地強化を図っていますが、新規作物の導入・指導を積極的に関わって育成されたい。

(5) 江府町観光事業で、奥大山スキー場の索道事業が町営化され、圧雪車の導入により好評を得ていますが、来シーズンに向けて整備に努め、小さくても滑ってみたい、行ってみたいスキー場になるよう努められたい。  
 (6) 観光案内看板を観光客にわかりやすく来られる様整備されたい。  
 (7) 一大イベント「江尾十七夜」の事業の伝統を活かした取り組みに努められたい。

**教育委員会**

(1) 江府小学校として一校のケアと通学時の安全安



こどもの国入園式 (0歳児)

心に努められたい。  
 (2) 今年度江府小学校の体育館が建設されますが、授業に影響のない様子スムーズな工事を進められたい。

(3) 今年度も中学校の二学期制を行い、生徒の学力向上ときめ細かな指導が出来る様、今後も続けられたい。

(4) 保育園のニーズが多様化していますが、子育て支援を充実させた保育運営を図られたい。  
 (5) 保育園・中学校の建物の老朽化について、改修等検討されたい。

(6) 小学校統合後の閉校した各小学校の施設の活用について、検討されたい。



# 特別会計

## 国民健康保険 (事業勘定)

医療費の数値を示す地域差指数は、順調に下がっていたが平成20年度は指定基準の1.14を下回ったが県の準指定数値1.10を上回った。その要因として前年と比較し入院費が2倍になったことが主な原因である。具体的には、悪性腫瘍の入院が挙げられる。本年も、病気の予防、検診に努め医療費の抑制に努力されたい。

## 国民健康保険 (施設勘定)

歯科、医科とも患者数が増加し、順調に経営が行われている。歯科医師の交代などもあったが林医師のもと、高度な治療が可能な体制となった。医科においては武地医師の下、住民の健康に対する予防と啓発のため糖尿病外来や高血圧・心臓病外来がなされてきた。動脈硬化予防に関しては、

本年5年目となりその結果が取りまとめられる。又、今年度は増加傾向の認知症に対応し「物忘れ外来」が設置され、今後の治療や予防が期待される。現在、鳥大医学部からの医師の派遣はあるものの、武地医師1名ではかなり負担が大きくなっている。今後、医師2名も含め将来にわたり充実した医療が提供できる体制について検討されたい。

## 介護保険事業 (保険事業勘定)

第4期(平成21年～23年)となる介護保険基準月額額は、4,650円となり前年より300円の増額となった。平成21年1月現在、当町の65歳以上の方は1,363人で、介護認定者は238人となっている。その内施設入所者は61人(前年より5～6人増)、居宅サービスを受けられる方は130人(前年より約10人増)となっている。今後

れるが、少しでも増加を防ぐために、診療所を中心に住民の健康増進を図って頂きたい。また、在宅介護を担っている社会福祉協議会の今後について、今後も十分議論し住民の福祉に資するよう要望します。



歯科診療所

## 索道事業

平成20年度は、比較的雪に恵まれ黒字となる予想である。しかし、気候に左右される不安定な事業であり、その経営には十分注意して頂きたい。その中で、地域振興(株)より派遣されている技術者の労働状況について把握し検討されたい。

## 簡易水道事業

現在の15施設の維持管理を万全にすると共に水質検査等の経費について出来る限りの削減努力をお願いしたい。

## 農業集落排水事業

平成21年度において宮市地区の事業が終わりますが、引き続き美用地区の整備と残された杉谷地区および合併処理浄化槽の整備により、下水道の整備に努められたい。

# 一般質問



問	夢と希望の持てる政策は
答	地域、町民会議等行政と一体となって進める

スト考え、今こそ住民に夢と希望を持たせる政策形成が必要であります。町長の考えを伺う。

## 政策形成について 地デジ（地上デジタル） テレビ放送受信対応について

日野尾 優

町長答弁  
平成18年度に第4次江府町総合計画10カ年計画を策定し、その基本理念として小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくりを掲げています。各分野におきまして個性あるまちづくり、自然ととも自立したまちづくり、地域で進める健康づくりと生きがいづくり、だれも生き生き暮らせるまちづくり、24時間365日安心できる医療体制づくり、水と緑を生かした快適で住み良い協働のまちづくり、思いやりと心豊かなまちづくりの推進の7項目を基本方針とし、これらを実現するための具体的計画として住民参画によ

ります江府町まちづくり推進計画を策定いたしているところですが、これらの計画実現のため、まず健全な財政運営が基本であります。そのため町民のご理解とご協力をいただきながら行政改革を第一に進めてまいりました。住民の福祉の向上に向けて一層の努力をいたし積極的に施策も展開しております。財政健全化にはまだまだ時間を要します。21年度予算では子供たちの学習環境等を中心に放課後子供教室事業なり中学校の全学年2学級、高齢者の買い物困窮地緊急支援対策、妊婦健診14回の全額支援等の行政方針です。住民に夢と希望を与える政策形成ですが、町民と地域が積極的に関与する地域がどうあるべきか議論し、町民会議等を通じて行政と一体となって元気な地域、元気な町をつくる

ついでにききたいと思っております。デジタル受信の現状は平成20年9月米子日南中継局が開局し、10月には日野中継局が開局しております。町内でも現在の開局されている中継局でデジタル化に対応できる改修が行われ視聴が可能な地域もあります。未改修の共聴施設については昨年度から状況を把握し

問	デジタル受信支援は
答	支援策を検討します

質問 国の方針により、2011年（平成23年）7月24日までに、アナログ放送は終了し、地上デジタル放送に完全移行します。現行受信点で難視聴地域がありますが、その地域の把握はどうなっているか。共同受信施設など新設、改修、チューナーの購入等の必要があるが、国、県、町の支援はどうか、町長に伺う。

町長答弁  
デジタル受信の現状は平成20年9月米子日南中継局が開局し、10月には日野中継局が開局しております。町内でも現在の開局されている中継局でデジタル化に対応できる改修が行われ視聴が可能な地域もあります。未改修の共聴施設については昨年度から状況を把握し

ていきたいと思います。これを改善するためには、2通りの対策が考えられます。一つは古峠山にNHK他全局の日野局を建設頂くとか、二つ目は受信状態が悪い地域に共聴施設を新設する方法です。既に古峠山に中継局のあるNHK、日本海テレビにおいては地域の受信状況を調査の上、現在の地上デジタル波の受信状況を勘案の上デジタル日野局を決定すること、早期開局を要請しております。現在アナログ中継局のない山陰放送テレビ、山陰中央テレビにも日野中継局設置を協議しております。共聴施設の新設は、国庫補助にもNHK支援の対象となり得ます。既設改修もNHKの支援対象となりますが、日野中継局の実施状況により条件が変わります。また家庭での視聴のためのチューナーにつきましては、国で積極的にやっています。国で積極的にやっていますが、これらの状況を見ながら、本町として支援策を検討したいと考えております。



問	診療所の医師増員は
答	確保に向けて努力

質問 平成9年4月武地医師を迎え、平成12年4月、新しい診療所開設。以来、医療従事者と患者との信頼関係のもと、住民サービスの向上に日夜献身的な努力が続いています。

江府町の医療費は、他町に比較して高く、県の指定になり、この事により、18年度には、補助金削減のペナルティもあった。この様な実態を踏まえ、その要因について分析しつつ健康づくりの取り組みに努力されている事に対し頭の下がる思いです。糖尿病外来、糖尿病予防対策に続き、高血圧、

## 福祉行政について

越峠 恵美子

心臓病外来もスタート。マスクにもたびたび取り上げられ、成果も上げられていると聞く。

武地医師も江府町に赴任されて13年目。命と地域の未来に向き合って365日、武地医師に命を救っていただいた人も決して少なくないはず。午前中は診察、一日平均65.1人、年間1万人以上。午後は訪問診察と往診で年間おおむね2000件を超える患者数に及ぶ。さらに町内企業の産業医嘱託医も受託。

最近、武地医師の過密なスケジュールに対し、先生の体調を危惧する声をよく聞きます。これから先も私達町民の健康管理をしていただくために良きパートナーを増員されるべきではないか。

福祉や医療は本来、人間の命と心に安らぎを与え、人権を守る尊厳的なものでなければならぬと思います。

健康、医療、福祉さらには、介護の連携統合の中で大切なことはすべてのサービスの中心は人であると思える。その為にも必要とされる人材は、町の責任でつくるべきではないか。

武地医師の思いを充分理解され、心を一つにされる方を選ばれることは勿論ですが、このことについて町長の所見を伺う。

### 町長答弁

江尾診療所では現在、武地医師、林歯科医師、医療スタッフ、派遣医師を含め総勢30名が、日夜町民の命と健康を守るため献身的に努力している。



問	待合室の対応は
答	将来的に検討を

質問 患者が増えて診療所の待合室が手狭になっている。多い時は座る所がないとの声を聞く。

待ち合時間の長さ、狭さに対する解決方法は今後どの様に対応されるのか。

### 町長答弁

診療所の混雑については、大変迷惑をかけているのが現状です。畳の待合室もあるので検討はしているが、具体的には今計画はしていない。数年後医師2名体制が対応出来る様になれば待合室の対策も検討する必要があると考えている。

# 一般質問



## 福祉政策について

上原 二郎

問	在宅介護の現状認識は
答	必要性は十分に認識

**質問** 昨年は体調を崩し色々な方にお世話になり、弱い立場の方の気持ち身を帯って経験しました。いまさらながら、医療や福祉の大切さやありがたさを思っています。そんな思いで福祉政策について質問いたします。

日々の生活を支えるのは、健康であり、病気の予防や治療に対して江府町は診療所を中心に、かなり充実した環境が出来ています。また、介護が必要な方の為には、介護老人保健施設あやめ、チロルの里特別養護老人ホームが整備され、施設にお世話になることが出来る

ます。介護老人保健施設あやめには、71名の内、町内の人が15名利用し、チロルの里特別養護老人ホームには、50床の内約25名が町内の人として、認知症を対象としたグループホームは10部屋の内9名が町内の利用者となっています。

両施設とも、町民からも喜ばれ、又、経営は順調に推移しています。また、施設に入るのではなく、自宅で介護を受ける方のためには社会福祉協議会がホームヘルパーを通じて、訪問介護、訪問入浴、配食サービス、有償旅客輸送事業等、在

宅での生活支援を喜びられています。中心となる訪問介護、訪問入浴を受けられる方は、大体30人前後となっています。診療所、介護老人保健施設あやめ、チロルの里特別養護老人ホームに比べ規模や、介護保険の在宅部

門だけを担っている社会福祉協議会は、運営するには色々な問題があるように感じます。住民にとって在宅介護は今後も充実していく福祉の大きな事業の一つであると思っています。

以上の点を踏まえ、町長の福祉全体に対する現状認識と在宅福祉に対する考え方を伺います。

**町長答弁** 町民の福祉向上のためには、保健・医療・福祉の連携をとることが必要



社会福祉協議会全職員

社会福祉協議会では現在、「あり方検討委員会」を立ち上げ検討いただいています。この議論の結果もお聞かせ頂き今後行政としてどのような施策が必要なのか、例えば財政的支援が必要なのかも含め検討していきたいと考えています。



## 今後の図書館について 廃校後の三校と分校の方針は

田中 幹啓

問	今後の図書館対応は
答	前向きに検討する

**質問** 読書は人類が獲得した文化であり、楽しく知識がつき、それ程費用がかからず読書習慣を身につけることにより一生の財産と生きる楽しみとなるが今回の予算の考え方を伺う。

**町長答弁** 情報社会が発展し読書の重要性が失われがちになってきている。人間形成において読書の役割は非常に大きく欠かせない要素である。21年度予算は4000

万円の圧縮予算であるが図書館費は昨年と同額予算です。

**質問** 統合後の小学校と中学校の図書館の位置づけと方針について伺う。

**町長答弁** 小学校の図書館の標準は5560冊で統合小学校は5967冊で標準冊数は確保しています。中学校の標準は7360冊で20年度末で5000冊を予定していますが、残念ながら標準冊数の80%であり今後冊数の確保につとめる。

新年度から小学校、中学校兼務で図書館司書職員を配置し、町立図書館とも連携し支援体制の充実をはかる。

**質問** 特徴ある図書館の設立に向けて水、川、雪、花、山、環境、健康をテーマにしたコーナーの設置について伺う。

**町長答弁** 水、川、雪等特徴ある図書館作りが必要ですが、施設的なスペースで、難しい部分もあります。季節や記念週間、水にかかわる本等を収集して情報提供するよう展示しております。

**質問** ふるさと図書（企業図書）、サントリー文庫、グリンステージ文庫、チロル文庫の設立について伺う。

**町長答弁** ふる里納税については図書館にまつわる項目を

問	廃校後の再利用は
答	検討中

設置し選択していただく工夫をいたします。企業図書については、地域貢献という事で町の支援について話し合いを進めていきます。

**質問** 開校以来百数十年の歴史と文化の殿堂と思えるが、統合後の本校3校と分校の今後の方針について伺う。

**町長答弁** 廃校舎活用庁舎検討会議を立ち上げ、19年9月第1回の答申を受け検討

中ですが、米沢小学校は各校の歴史的な資料の保存と長い間の思い出のために資料を閲覧出来る場所にします。明倫小学校は大半が借地であり、取り壊し地権者への土地返還を基本とし目標年度を設定しながら、賃借等を含め取り壊しまでの利活用も検討いたします。

俣野小学校は現状の使用が可能な建物であり、交流活動の拠点としたい。米原分校は情報を公開し、公募をし、例えば企業等にも斡旋いたします。下蚊屋分校は県の無形文化財の指定、下蚊屋神楽等の交流活動の拠点として使用いただき集落管理をお願いしています。



図書館



# 一 般 質 問



## 江府町の 情報通信の整備

川上 富夫

問	ITプロジェクトの進捗
答	現在検討中

**質問** 8年前の最初の一般質問が情報化についての質問でした。その間各議員さんからも情報過疎にならない様、質問されてきましたが、同じ答弁しかありませんでした。近隣の町と比べて遅れていることは確かです。郡内では日南町のCATVの配線が進み、大山町に於いては各戸に「光」を配線しブロードバンドの対応がなされています。

江府町は県内で一早くCATVの取り組みが、行政・商工会となされ期待したが、今日に至っています。その間、民間の通信網の普及により、一

気に携帯電話の普及が進み、今は無感地域解消の取り組みがされています。公共機関は高速通信網の整備が進み、インターネットの通信整備もADSLで小範囲での整備が進んでいます。テレビにおいては、後2年でアナログからデジタル放送へ変わっていきます。

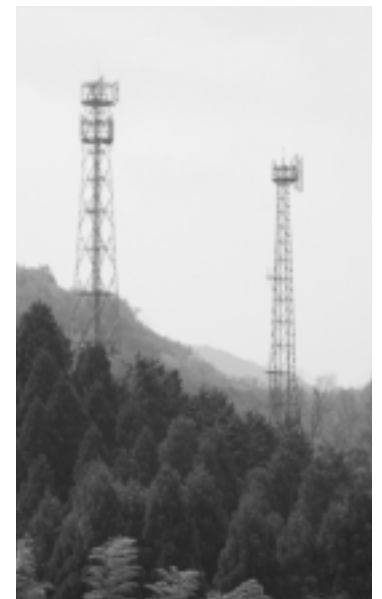
江府町もプロジェクトチームを立ち上げていますが、どの様に進んでいるか何う。

### 町長答弁

江府町の情報通信についてプロジェクトチームをつくって検討させていただきますので、内容について答弁します。



図書館インターネットコーナー



携帯無線塔

えられます。

近隣町村と同様な設備をし、ケーブルTV事業者・NTT等に貸し出すことも検討しました。

高速通信のみだけで試算しますと6億円かかります。3分の1を国の補助金、残り3分の2を準備しなければなりません。日南町のように有利な起債を活かして進めるには、江府町は過疎指定地区ではないので、財源的に難しいという方向性が出ています。

本年度に入り総務省の高速データ通信サービスの充実で、携帯電話の電波を利用したサービスが開始され、実際の通信速度は、ADSLと遜色ないようです。

各小学校には光ケーブルが配線してあり検討しましたが、一部地域になりませんが2億円程度はかかります。

無線による整備についても検討しておりますが、谷間、山陰で相当なアンテナ設置の費用負担が考

最終的には、医療等にも十分対応できる容量の「光」がいいと考えますが、それまでのつなぎとしては、携帯電話による情報通信といえるかと思っています。

ここ数年で情報ネットワークが拡がり、そして大変早くなってきたのは事実、厳しい財政事情ですが、他町の情報も収集しながら目標年度を掲げて、実施計画として落とししていく必要があります。

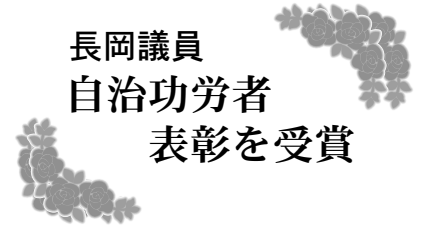
無線による整備についても検討しておりますが、谷間、山陰で相当なアンテナ設置の費用負担が考



平成21年2月20日、長岡第一議員が、全国町村議会議長会から自治功勞者表彰を受賞されました。長岡議員は、町村議会議員として15年以上在職し、議会活動に尽力され、その功績が認められ受賞されました。



長岡議員  
自治功勞者  
表彰を受賞



生田政美 氏

平成21年2月28日付で辞任された、生田政美氏の後任の江府町監査委員に砂原和省氏を選任することに同意しました。生田政美氏には、平成15年7月から5年8ヶ月の間お世話になりました。



監査委員に  
砂原和省氏  
(佐川)

監査委員の選任について同意



伊藤友昭 氏

平成21年3月31日で辞任の伊藤友昭氏の後任の江府町副町長に宮本正啓氏を選任することに同意しました。伊藤友昭氏には、3年6ヶ月の間お世話になりました。地域づくり支援局自治振興課長としてのご活躍を期待します。



副町長に  
宮本正啓氏  
(俣野)

副町長の選任について同意

## 陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	審議結果
後期高齢者医療制度被保険者への資格証明書交付についての陳情書	趣旨採択
最低保障年金の実施に関する陳情	趣旨採択
物価上昇に見合う年金引き上げに関する陳情	趣旨採択

## 第2回 臨時会

2月19日第2回臨時会を開会し、一般会計補正予算(第五号)定額給付金事業及び子育て応援事業並びに地域活性化・生活支援対策臨時交付金事業を実施するため、1億9471万2000円の増額補正、並びに簡易水道事業特別会計補正予算(第四号)水道施設設備に伴う生活支援対策に対応した一般会計繰入金金の2025万円の増額補正の2議案を可決した。

あなたも議会を  
傍聴して見ませんか

詳しくは議会事務局へ

電話番号75-3307

# ひとこと



武庫 澤田 尚美

## 意欲の芽

現在、我が家は2歳になる娘の子育て中です。最近、娘は自分でできることが増えたり、親子での会話が楽しめることと小さな成長を実感することが多くなりました。本人もできることが増えるようになった喜びを感じるようになっています。「あたち、おてちゆだい、できよよ。」と得意そうに言うようになります。

「自分」を少しずつ意識するようになり、「自己主張」も強くなるこの頃。何でも「あたちが！」と言って聞かないことも多いです。そんな「自分でやりたい！」という気持ち

ちが強くなっていく時期だからこそ、育んであげたいことがあります。「やりたい！」という意欲の「芽」は、将来につながる力のモトです。誰しも将来、自分の能力を現実的に評価せざる得ない状況が生まれると思います。そんなときに「自分でやってみる」という意欲や「自分ではできる」という自信が十分に育まれていると、自己評価が否定的になっしまい兼ねません。

「意欲の芽」が始めた今の時期だからこそ、一度揺らいでも立ち直れるくらいしっかりと柱を築いてあげることが大切だと思います。

だから、最近我が家では、娘がしてくれたどんな小さなことに対しても「ありがとう。」と必ず言うようにしています。娘は、「ありがとう。」と言われると嬉しくなり、ますます意欲が出てきます。これは、大人も子どもと同じだと思えます。娘も私に対して「ありがとう。」と言ってくれることがあります。このたった5文字で私も娘のためにさらにがんばろうという気持ちになります。

しかし、子育てはなかなか思うとおりにはいかないこともたくさんあります。その都度、大切なことを忘れていなか振り返りつつ親も子どもと共に成長し、楽しみながら子育てをがんばりたいと思っています。



西成 妹尾 和之

## 江府小学校 スタート

真つ白に雪化粧した大山の雪も溶け、吹く風も日に日に温かさを増し、春の訪れを感じ始める頃となりました。

平成18年度から進められてきました、小学校統合「江府小学校」がいよいよスタートしました。

江尾小学校は江府小学校として形を変えますが、米沢・明倫・俣野の各小学校からは子供たちの声が無くなり、各地区の方々の寂しさは計り知れないものがあると感じます。しかしその背景には、児童数

の減少・社会情勢の変化等に対応するため行なわれるものであり、江府町当局としても苦渋の決断だったと思います。

各小学校とも大正・昭和の激動期を乗り越え、その地区での就学機関として各方面に有能な卒業生を輩出し大いに活躍されていることでしょう。その陰には教員・保護者・地域の方々等の弛まない努力の積み重ねにより成しえた偉大な結果だと確信すると共に敬意を表したいと思えます。

この度の統合により江府町の新たな歴史が始まります。我々江府小学校の保護者としても諸先輩方の意思を受け継ぎ、江尾・米沢・明倫・俣野各校区の保護者が一丸となり、手を取り合い、言葉を交わし、協力し合いながら努力を惜しまず精進して行きたいと思えます。

最後になりましたが「江府町民全員で江府町の子供達を育てる」思いで、今後も町当局を始め、各地区の方々にはこれまで以上のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## あとがき

▼新年度の予算も決まり今年がスタートしました。

▼花冷えの日の嘘のように暖かくなり、江府小学校の入学式は桜の花びらが舞い散る中行われました。保護者に付き添われた24名の一年生は緊張と期待に満ちた顔で一人一人大きな声で返事をしていました。目を閉じれば当時の記憶がよみがえってきます。

▼あつという間に4年がたち議員の任期も残りわずかとなりました。

新一年生に負けないよう、我々議員も初心を忘れず子供達のために又、全町民のために最後まで努力致します。

上原二郎

### 議会広報調査特別委員会

- 委員長 越峠恵美子
- 副委員長 川上 富夫
- 委員 上原 二郎
- 委員 日野尾 優
- 委員 池田 成弘